

巻頭言



人間看護学部 学部長

もり
森

さとる
敏

滋賀県立大学は平成7年4月に開学した。人間看護学部は、それに遅れること8年、平成15年4月に短大から昇格し大学に組み入れられた。

本誌『人間看護学研究』は、その翌年（平成16年）に発刊され、以後、毎年1回刊行されている。¹まさに学部とともに歩んできた雑誌である。

看護は他学部と比べると後発である。しかし、成長をつづけている学部でもある。博士号の取得者は少しずつ増え、博士後期課程に籍を置く教員も多い。本号への投稿論文数は去年の2倍近くに増えた。喜ばしい限りである。今後は、博士後期課程の設立も視野に入れ、英文の業績も掲載していくことになるであろう。

人間看護学部がおおきく変貌していくなかで、本誌もそれに合わせて変わって行かなければならない。本誌が、学部発展の一翼を担い、学部とともに進化していくことを切に望んでいる。